

こんな問答 ありました。

第二回臨時会

国民健康保険税条例の一部改正

問 後期高齢者医療制度の実施によって、国保から何人が新しい制度へ移行するののか。

答 700人余りが移行される見通しである。

問 保険税の徴収について、今まで高い徴収率だった高齢層が新しい制度に移ることで率の低下をまねかないか。

答 景気も低迷している中で徴収率も厳しくなっている。できるだけ自宅訪問等もして、率が落ちないように努力していきたい。

第二回定例会

町税条例の一部改正

問 来年10月より、住民税についても年金から天引きにしようということだ。

答 年金は個人の財産であり、個人の手元へ渡る前に天引きするのは『差し押さえ』をするようなものである。年金生活者の生活実態を考えると問題があるのでは。

答 国は、お年寄りの方々に便宜を図るための改正と説明している。年金年額18万円以上の方が対象となる。

問 ふるさと納税制度がもてはやされている

が、地方間の人気を競わせておいて、本来国がやるべき財政格差の是正を本筋にしようとしているのではないか。

答 制度が充実してくるとかなりの額になるだろうし、ふるさとへの思いを持ってもらえる一つの制度と思う。

国民健康保険税条例の一部改正

問 国保税の課税限度額が上がっているが、課税額は総じて下っている。これは75才以上の方が後期高齢者医療制度へ移行したためか。

答 短絡的にそうだとは言えない。それぞれの制度間の財政負担の調整の影響が大きい。

保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正

問 旧町村で保育料の階層別けがかなりちがっていた。どういったことに留意した今回の改定

か。

答 国の7階層に統一していかざるを得ないと考えているが、美山地域の料金が低く抑えられていた経緯もあり、あと1〜2年というのには厳しい状況になっている。

問 寒川保育園は一段階値上げとなっている

が、これは給食が実施されるのが理由か。

答 その通りだ。調理師は地元から臨時で雇った。

問 なかつ保育所の通園は定期バスでおこなっていたが、10月からはどうするのか。

答 コミュニティバス



コミュニティバスが走る打尾地域

の導入により、10月から独自の通園バスを走らせる計画である。

スポーツ広場条例の一部改正

問 中津・美山地域には、学校統合による同様のグラウンド、体育館等があるが、スポーツ関係の施設として位置づける必要はないのか。又地域住民の利用は可能か。

答 普通財産として町で管理しているが、今後は地域での利用実態に合わせ、今回のような条例改正をして位置づけていく。

利用については支障がない限り許可していく。
工事請負契約の締結
(川辺西小学校校舎耐震補強工事)

問 請負金額4389万円は妥当か。どのような建築積算資料に基づいた設計をしたのか。落札率は何%か。

このような部分的補強

で判定基準0・7をクリアできるのか。工事後の教室の環境整備の見直しも考えているのか。

答 設計金額は耐震診断判定委員会の積算基準に基づいた数字である。落札率は、88・5%である。

安全性については充分クリアできる。教室の環境整備も考えていくつもりである。

一般会計補正予算
(第1号)

問 地域公共交通活性化協議会への負担金1478万4千円は、コミュニティバス運行費用の半分か。

答 その通りだ。南海バスへの補助が減ることになるが、今までより約650万円多く費用がかかる。

しかし、国の補助金が3年間、年1000万円あり、当面は大丈夫と見

ている。

問 減債基金への基金積み立てを1億8千2百万円もするのはどういふことか。

答 借金を返すために積んでいる基金が180

0万円程に減っている。

今回、繰越金を活用して、積み立て額を2億円に戻そうということだ。



耐震補強される川辺西小学校

旧早蘇中学校跡地へ 下着製造企業

6月12日に開かれた議員全員協議会において、町執行部より企業誘致に関して報告がありました。

進出してくるのは大阪市の下着製造メーカー『株式会社マルテン天満屋』で、旧早蘇中学校の体育館を含む跡地全部を町と賃貸契



約のうえ、使用します。

『マルテン天満屋』は、ブランド品を中心とした下着の製造・卸

し会社で大阪市の工場や配送センターが手狭になったことによる町への進出です。

操業予定は来年4月からとしており、町内

を中心に約44名の従業員を雇用するとして

います。賃貸料は、坪あたり月150円で、年間162万円の町収入となります。